

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 隆一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	21,862	△0.6	283	22.9	286	19.3	184	34.7
28年3月期第3四半期	21,991	0.3	230	△7.5	239	△7.7	137	8.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 271百万円 (49.9%) 28年3月期第3四半期 181百万円 (△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	58.71	—
28年3月期第3四半期	43.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	10,438	2,124	19.9	657.95
28年3月期	7,581	1,995	25.0	601.96

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,072百万円 28年3月期 1,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	30.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.9	319	25.3	319	17.5	200	22.7	63.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	3,150,000株	28年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	211株	28年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	3,149,789株	28年3月期3Q	3,149,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、新興国の景気減速や英国のEU離脱問題、11月の米国大統領選挙などの影響による急激な為替変動もあり、経済の先行きに関しては依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、食の安心・安全に対する消費者の社会的関心は引き続き高く、品質管理体制の一層の強化が求められているほか、国内市場の縮小化による同業他社及び他業態との競争激化や食品原材料の高騰など、取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な原材料・資材の供給体制を維持・強化し、サービスの質の向上に努めるとともに、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。脱脂粉乳をはじめとする乳製品やマンゴーピューレ、ジャスミン茶などの農産物及び同加工品、子会社の製造販売事業が好調に推移したものの、香料や糖類などの食品副原料の販売数量が減少したことに加えて、平成28年2月末にFC店舗を1店舗閉店したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,862,260千円（前年同期比0.6%減）となりました。一方、製造販売事業の売上増加にともない製造効率が向上したことに加えて、卸売事業の販売活動にともなう配送の効率化に努めたことから、営業利益は283,449千円（前年同期比22.9%増）、経常利益は286,106千円（前年同期比19.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は184,913千円（前年同期比34.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲料市場においては、夏場の猛暑の影響や10月以降は好天に恵まれたため、出荷数量は前年比増で推移いたしました。しかしながら、小売優位の情勢や原材料高騰を受け、継続的な売上規模と利益確保の両立が難しい局面を迎えており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。香料などの食品副原料やウーロン茶、紅茶等の茶葉類の販売が低調に推移したものの、粉乳調整品などの乳製品やマンゴーピューレ、ジャスミン茶などの農産物及び同加工品、資材・包材などの販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は21,282,388千円（前年同期比0.5%増）となりました。

#### <製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。夏場の猛暑の影響を受けて既存取引先への販売数量が増加したことに加え、菓子メーカー向けのPB商品が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は575,847千円（前年同期比27.4%増）となりました。

#### <その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、同地区の再開発にともない平成28年2月末に1店舗閉店いたしました。

この結果、売上高は590,730千円（前年同期比26.2%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,829,950千円増加し、9,234,544千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、未収入金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ27,555千円増加し、1,204,223千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,857,506千円増加し、10,438,768千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,760,312千円増加し、7,207,549千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ31,422千円減少し、1,106,690千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,728,890千円増加し、8,314,239千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ128,616千円増加し、2,124,529千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,300,355	2,060,022
受取手形及び売掛金	3,535,153	5,567,866
商品及び製品	1,087,866	1,002,246
未着商品	287,925	282,004
原材料及び貯蔵品	25,377	23,348
未収入金	92,068	209,214
繰延税金資産	31,989	8,749
その他	48,559	86,993
貸倒引当金	△4,700	△5,900
流動資産合計	6,404,594	9,234,544
固定資産		
有形固定資産	410,000	393,971
無形固定資産	71,237	60,700
投資その他の資産	695,430	749,551
固定資産合計	1,176,667	1,204,223
資産合計	7,581,262	10,438,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,342,599	5,818,491
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	613,768	657,590
未払金	276,244	467,486
未払法人税等	75,228	32,786
賞与引当金	33,320	21,600
その他	106,074	109,594
流動負債合計	4,447,236	7,207,549
固定負債		
長期借入金	1,016,855	971,877
資産除去債務	4,359	4,416
その他	116,898	130,396
固定負債合計	1,138,112	1,106,690
負債合計	5,585,349	8,314,239
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	292,475
利益剰余金	1,105,088	1,195,508
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,756,733	1,851,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,638	156,294
繰延ヘッジ損益	△10,676	20,493
為替換算調整勘定	31,336	44,386
その他の包括利益累計額合計	139,298	221,174
非支配株主持分	99,880	52,113
純資産合計	1,995,912	2,124,529
負債純資産合計	7,581,262	10,438,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	21,991,410	21,862,260
売上原価	20,059,122	19,947,497
売上総利益	1,932,287	1,914,763
販売費及び一般管理費	1,701,653	1,631,313
営業利益	230,634	283,449
営業外収益		
受取配当金	5,468	5,594
為替差益	4,481	1,065
受取手数料	4,833	4,833
受取補償金	1,865	2,559
その他	2,109	816
営業外収益合計	18,758	14,868
営業外費用		
支払利息	8,183	7,198
支払補償費	1,021	3,800
その他	437	1,213
営業外費用合計	9,641	12,211
経常利益	239,751	286,106
税金等調整前四半期純利益	239,751	286,106
法人税、住民税及び事業税	92,833	79,506
法人税等調整額	△2,339	13,594
法人税等合計	90,494	93,100
四半期純利益	149,257	193,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,936	8,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,320	184,913

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	149,257	193,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,160	37,655
繰延ヘッジ損益	△4,376	31,170
為替換算調整勘定	435	10,132
その他の包括利益合計	32,218	78,958
四半期包括利益	181,475	271,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,428	266,789
非支配株主に係る四半期包括利益	12,046	5,174



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,047,114	143,749	21,190,864	800,545	21,991,410	—	21,991,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129,809	308,083	437,893	—	437,893	△437,893	—
計	21,176,924	451,833	21,628,757	800,545	22,429,303	△437,893	21,991,410
セグメント利益	205,913	5,910	211,824	14,935	226,760	3,873	230,634

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,873千円は、セグメント間取引消去3,873千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,125,590	145,939	21,271,530	590,730	21,862,260	—	21,862,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156,798	429,907	586,705	—	586,705	△586,705	—
計	21,282,388	575,847	21,858,235	590,730	22,448,966	△586,705	21,862,260
セグメント利益	256,932	22,013	278,945	2,970	281,915	1,533	283,449

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,533千円は、セグメント間取引消去1,533千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。